

議会報告会報告書

開催日	場 所	ブロック別	担当班	頁
8月17日(日)	福山市役所 本庁3階 大会議室	中央西	中央西・ 中央東班	1～4
8月18日(月)	北部市民センター 多目的ホール	北部	北部・ 神辺班	5・6
8月19日(火)	沼隈サンパル ホール	南部	西部・西南・ 南部班	7～11
8月20日(水)	東部市民センター ホール	東部	東部班	12・13
8月21日(木)	西部市民センター 多目的室	西部・西南	西部・西南・ 南部班	14～18
8月22日(金)	神辺文化会館 小ホール	神辺	北部・ 神辺班	19・20
8月23日(土)	福山市役所 本庁3階 大会議室	中央東	中央西・ 中央東班	21～24

2025年(令和7年)11月
福 山 市 議 会

議会報告会報告書

開催日時	2025年(令和7年)8月17日(日) 13:30 ～15:00					
開催場所	福山市役所本庁舎 3階 大会議室					
担当班 及び名簿	中央西・ 中央東班	貝原 大和 喜田 紘平	佐久間 裕徳 能宗 正洋	木村 素子 大田 祐介	野村 志津江 早川 佳行	小山 友康 小林 茂裕
役割分担	班 長	野村 志津江		副 班 長	貝原 大和	
	司会進行	貝原 大和		資料説明者	貝原 大和	
	答弁者	全員		記録者	野村 志津江 貝原 大和	佐久間 裕徳 木村 素子
欠 席 者	なし					
参 加 者 数	64人(内、オンライン視聴8人)					
報告内容等	・(報告)ふくやま市議会だより ・グループディスカッション					

【意見交換】

Aグループ担当：小林 茂裕・佐久間 裕徳

質疑応答	質 問 ・ 意 見 等	答 弁
	Q1 自治会・町内会など、地域組織の人材不足があるので、組織の再編成等、対策を講じてほしい。	A1 多くの地域で人材不足は課題になっている。議会としては承知している。これまでも議論は出ており、他自治体の好事例なども学びながら引き続き考えていきたい。
	Q2 自治会・町内会の加入率低下や現状の取り組みなど、全学区に対して、アンケートなどを実施して調査をしてほしい。	A2 自治連の中でも声をあげていただいて、取り組みもしていただきたい。各議員も共通の認識をもっており、考えていきたい。町内会の取り組みをしっかりと知ってもらうことも必要。
	Q3 それぞれの組織で同じような役があるので、組織の見直しなど考えてほしい。(まちづくり・明るいまちづくり等)	A3 各学区によって様々だが、確かに役が重複している部分もある。時代に合った組織改革が必要。
	Q4 役員の負担軽減を考えてほしい。デジタル化などの推進もしてほしい。	A4 デジタルの講習などは行っているが、実際デジタル化しようとしたら、役員の負担が大きい。他学区の自治会の良い取り組みなどを共有するなど考えたい。
	Q5 子ども会に加入しない子どもが多い。学区、市の育成会の体制また、親の役員の問題。こどもは少ないが役員は一通りいる。コロナの影響で特に加入率が減った。	A5 少子化の問題。各組織の連携も必要。それぞれが助け合うことも必要。(子ども会・町内会・老人会などが一緒に)
	Q6 駅前広場については、どのように考えているのか。	A6 議員はそれぞれ多様な視点や考えを持っている。未来の福山の姿を見据えつつ、市民の皆さまの意見を聞きながら考えていきたい。

議会報告会報告書

	質 問 ・ 意 見 等	答 弁
質疑応答	Q7 防災について、避難場所以外に対する備蓄品はどれくらいあるのか。みんなに行き渡るくらい備蓄されているのか。	A7 各学校や避難所にある程度の備蓄はしてあるが、すべての市民に行き渡るものではない。それぞれが、まずは各家庭で最低限の備蓄を行うなど自助を進めてほしい。自主防活動への参画等の共助も重要となってくる。

【意見交換】

Bグループ担当：大田 祐介・貝原 大和

	質 問 ・ 意 見 等	答 弁
質疑応答	Q1 こどもの自転車ヘルメットは義務化されているが、費用が高く負担が大きい。補助制度を導入し、親子で着用が進む仕組みを検討してほしい。	A1 事故防止のため着用推進は重要。補助金の導入や条例による機運醸成を含め、環境整備や啓発とあわせて検討を進めていく。
	Q2 町内会・自治会の加入率が下がり、活動の担い手が減っている。宇都宮市のように加入促進を条例で定めるなど、抜本的な改善を進められないか。	A2 加入は任意だが、加入メリットの周知や活動負担の軽減、団体の集約も含め、地域コミュニティの持続に向けた改善策を検討していく。
	Q3 福山駅前のにぎわいを取り戻すため、地下駐車場や史跡、商業施設をつなげるなど、地下空間の活用を進めてはどうか。	A3 若者が集い、移動しやすい駅前のため、地下空間の有効活用や回遊性向上を含め、都市計画の中で可能性を調査・検討していく。

【意見交換】

Cグループ担当：喜田 紘平・木村 素子

	質 問 ・ 意 見 等	答 弁
質疑応答	Q1 市の広報や議会だよりの綴じ方について。市広報は横書きが多いのに右綴じに作られている。議会だよりは縦書きと横書きが混在しているが、縦書きも多いため右綴じ。統一してほしい。	A1 他の自治体の広報や議会だよりを参考に調整を検討する。
	Q2 公園管理について。樹木等の剪定など行政は予算不足を理由に実施を遅らせる傾向にある。また、支給された除草剤では追いつかず結局町内会費からねん出することになっている。そもそも公園管理を町内会に過度に依存しているのではないか。	A2 市全体での一括管理・運営体制の検討、予算交渉など財務部との協議を進め、公共施設整備・維持のルールの見直しが求められる。
	Q3 公園管理以外にも、町内会に委託する作業が多くなってきている。また、防犯灯、防犯カメラなど更新時や機材入れ替え時の財政的負担が大きい。市でもっと見てもらえないか。	A3 同上。
	Q4 公園のボール遊び禁止などの制限がこどもたちの遊び場を狭めている。バスケットボールなどスポーツ施設も不足している。コミュニティセンター併設の体育館や、学校の放課後の校庭などの活用を可能にできないか。	A4 担当部署に伝え検討をしていただく。

議会報告会報告書

質疑応答	質 問 ・ 意 見 等	答 弁
	Q5 農業用水路や雨水排水路の清掃・維持管理が難しくなっている。特に深く幅のある水路の掃除は住民に大きな負担となっている。	A5 転落防止策は講じられているが、一部で清掃の妨げになるケースもあり、通学路近くの水路など優先的な安全対策が必要などから行政との連携を図り整備する必要があると思う。担当部署と討議する。
	Q6 小児心療内科は福山市内にほとんどなく、診療希望の場合、2～3か月以上の待期期間が生じる。 市内の小児心療内科の誘致充実をお願いしたい。	A6 全国的に小児精神科医が不足している。カウンセリング体制もしっかりできていないのが現状。こどもを取り巻く医療体制については議会でもたびたび議論されてきており、本市に医師を呼び込むための施策検討が必要と感じている。
	Q7 市と住民が果たすべき役割の区分を明確にし、住民に過度な負担を強いる仕組みは改善してもらいたい。自治会や町内会への参加意識が低下している中、行政が住民負担軽減のための支援策を策定することが必要なのでは。	A7 自治会加入率については強制とする仕組みは作りにくい。町内会に入る意義や目的の説明について丁寧に伝えていかねばならない。役割分担については担当課と協議をする。
	Q8 3階建て以上の集合住宅や古い平屋アパートに対して、災害時の避難対応策に課題が残る。	A8 議会でも議論していく。
	Q9 集合住宅住民の自治体非加入の状況が、町内会の地域連帯感の醸成や草刈りや溝掃除などの重要な役割維持を難しくしているので困っている。	A9 議会でも議論していく。
	Q10 PTAや子ども会は強制参加ではなく自発的な参加が基本だが、「入らなくてもいい」との認識が広がっている。聞くところによると学校長がそのように言っているとのこと。	A10 おそらく学校長は「入ったほうがいいが無理なら入らなくてもいい」といった意図で伝えたかったのかもしれない。いずれにしろ、引き続き町内会加入のための施策を考えていく。

【意見交換】

Dグループ担当：小山 友康・野村 志津江

質疑応答	質 問 ・ 意 見 等	答 弁
	Q1 議長は2年毎、副議長は毎年変わるのは何故か。任期に合わせて4年間継続すればいいのではないか。どのような背景でそうなっているのかと不思議に思う。	A1 福山市では慣例でそのようになっている。そのような意見があったことは議会運営委員会に伝える。
	Q2 市議会だよりの説明があったが、紙面の内容説明より、それぞれの議員が取り組んでいる生の声が聞きたかった。配られた資料も文字が小さくて見えにくい。	A2 報告会の統一報告内容として今年度は市議会について皆さんに知っていただけるよう市議会だよりに対しての報告をすると決めた。来年度の報告内容については今後検討していく。読みやすい配布資料になるよう努める。

議会報告会報告書

	質 問 ・ 意 見 等	答 弁
質疑応答	Q3 入江の埋め立てをすることは、大きな環境変化となるので、すべて決まってからではなく、早い段階で地域住民への説明会を行ってもらいたい。	A3 市民に十分な説明をしながら工事を進める必要があると思っている。埋め立て後の土地の活用や、新たな道路について、市民の意見を聞きながら工事を進めてもらえるよう、適切な時期に住民説明会を実施するよう行政に要望していく。
	Q4 議員は行政のチェック機能を果たすためにも、もっと勉強し、知識を持って、入江の埋め立てや駅前広場についてなど、しっかり議論をしてほしい。	A4 要望として受け止める。
	Q5 前回の市議選は50人以上の立候補者がいて選びにくかった。地域ごとに立候補者の定数を決めたらどうか。自分はその方が選び易く、投票しやすいと感じる。	A5 現在は市会議員の定数は全体で38人としか決まっていない。地域ごとの候補者定数はない。（補足：福山市議会基本条例では定数が38人と決まっているのみ。）

議会報告会報告書

開催日時	2025年(令和7年)8月18日(月) 18:30～20:00					
開催場所	北部市民センター 多目的ホール					
担当班 及び名簿	北部・ 神辺班	千葉 真一	加藤 陽一郎	平川 富章	塩沢 光江	宮本 宏樹
		石口 智志	能宗 正洋	生田 政代	早川 佳行	小川 眞和
役割分担	班 長	生田 政代		副 班 長	石口 智志	
	司会進行	宮本 宏樹		資料説明者	平川 富章	千葉 真一
	答 弁 者	全員		記 録 者	塩沢 光江	
欠 席 者	小川 眞和					
参加者数	121人(内、オンライン視聴11人)					
報告内容等	・ふくやま市議会だより ・北部かわまち広場 ・駅家公園リニューアル ・神辺町まちづくり					

【意見交換】

	質 問 ・ 意 見 等	答 弁
質疑応答	Q1 宜山には避難場所がない。危機管理防災課で相談しても進展しない。早めに交流館を移転・新築して安心して住める地域にしてほしい。	A1 一時避難場所の方は決められていると思うのだが、北部支所等に要望であげていただけたらと思う。地域の宜山小学校のエリアのどこかを活用するという方法も取れるのではないかな。3年以内には近田方面への道路ができるので避難経路になると思う。交流館の移設・新築に関しては関係部署に伝えておく。
	Q2 ①西環状線は自動車専用道路であるが、歩行者や自転車は通行できるのか？避難の際には使用できないのか。 ②浸水対策について、今岡第一樋門を閉めると宜山の水が入ってくるので怖い。市長はすべて大丈夫だと言うがそれは違うと思う。要望書は出しているが今岡にもポンプ場を設置してほしい。	A2 ①新しくできつつある福山西環状線について、その具体的な使用方法是説明を受けていない。避難時に歩行者や自転車が通行できるかどうかはこれから確認していきたい。 ②今岡第一樋門については樋門を上げると芦田川の水が今岡の方に入ってくる。ポンプ場の設置が可能か確認し、改めて返答する。
	Q3 駅家公園について、地域の方にしっかりと活用してほしい。近くにある吉野川が決壊するため、浸水被害についての抜本的な対策が必要。駅家公園の地下に貯水槽を作ったらどうか。	A3 (駅家公園活性化)協議会でも議論してほしい。民間の活力を活用し、官民連携を頭に置いて、その活用について市に届けていきたい。公園や小学校の地下に貯留槽を作った実績があり、蔵王町の地下水路(雨水幹線)はもう少しで完成予定である。地下貯留槽の件も提案していきたい。
	Q4 ①土木関連に比べて農業予算がかなり少ないのもっと増やしてほしい。 ②人口減少はコロナワクチンの影響によるものがあるのではないかな。 ③駅前開発において、バスターミナルの移動、さんすて福山解体、公園の必要性について、見直しをしてほしい。大金を駅前にばかりかけていていいのか。	A4 ①食糧自給について、生産したものが売れないのも困る。産直市に出せるような手立てもあるし、卸売市場の全面リニューアルの計画も予定されている。農業希望者と農業後継者を探す人とのマッチングも予定している。 ②出生率の低下は未婚率があがっていることにも原因があり、市では出会いの場を提供している。またネウボラの整備を進め、子育て支援に力を入れている。 ③市議も意見はそれぞれであり、当面見送りになっている。私としては福山の玄関口であり送迎、結節の機能を持たせていきたい。

議会報告会報告書

	質 問 ・ 意 見 等	答 弁
質疑応答	Q5 ①湯田地域の交流館の建て替えについて、地域の意見を聞いていないのではないかと聞いた。地域を盛り上げるために市民としてできることをしたい。友達とアンケートを取る予定だが、この声をどこに届けたいか？ ②福山市全校がコミュニティスクールになると聞いた。楽しみにしているが、全校一斉となると一つ一つの学校に対しては教育委員会の手が届きにくくなるのではないかという思いがある。こちらも何か地域で盛り上げることが出来ないかと考えている段階である。	A5 ①常金丸については2020年から4年間かけて議論を重ねた。地域の人にアイデアを出してもらった。いろいろな体験を重ねて2年目を迎えている。地域が違うのですべて同じようにはできないが、地域の特性を活かした意見を出してほしい。アンケート、自治会やPTAでの議論等、方法は様々ある。その声はまちづくり推進課に出してほしい。 ②コミュニティスクールでは地域はお手伝いではなく対等な立場で一緒に学校を作っていくようになる。議会でも、教育委員会に対しコミュニティスクールをどうやって根付かせていくのかを質問しているので、それを参考にしてもらいながら、意見があれば地元の議員や知り合い議員の方に言っていただければ、より素晴らしいコミュニティスクールになると思う。
	Q6 ①議会報告会をそれぞれの交流館で、広く細やかに行ってほしい。また市長との対話する機会はあるのか。 ②参議院選挙の投票率が低かった。議会への関心を高めてもらう取り組み不足なのではないか。市の方からもっと近づいてきてほしい。 ③米不足の問題は市独自に備蓄が必要ではないか。また自給率を上げる工夫や農家への支援を増やしてほしい。	A6 ①団体と市議会が話す機会は増やしてきている。車座トークや市政懇談会、各団体との懇談を増やしていく予定。 ②備蓄米はすぐには難しいが、企業や自治体との相互支援協定を進めている。
	Q7 町内会の加入者が減っている。「協働のまちづくり指針」を読んでも何も書かれていなかった。町内会加入率は54%である。これでは政策も進まない。活性化のための条例を制定してほしい。	A7 先進自治体の取り組みや効果を調べる中で、また市民を取り巻く状況も変化している中で、改めて政策を考え直す事も求められているし、それが議員の仕事である。

議会報告会報告書

開催日時	2025年(令和7年)8月19日(火) 18:30～20:00					
開催場所	沼隈サンパル ホール					
担 当 班 及 び 名 簿	西 部 ・ 西 南 ・ 南 部 班	橘高 行格	山田 由美	大村 展正	田口 裕司	小畠 崇弘
		宮地 毅	奥 陽治	能宗 正洋	連石 武則	岡崎 正淳
		池上 文夫	早川 佳行			
役割分担	班 長	田口 裕司		副 班 長	小畠 崇弘	
	司会進行	山田 由美		資料説明者	大村 展正	
	答弁者	全員		記録者	橘高 行格	山田 由美
					大村 展正	田口 裕司
欠 席 者	なし					
参加者数	47人(内、オンライン視聴9人)					
報告内容等	・(報告)ふくやま市議会だより ・グループディスカッション					

【意見交換】

Aグループ担当：宮地 毅・小畠 崇弘・橋高 行格

質 問 ・ 意 見 等		答 弁
質疑応答	Q1 2029年に向けて道の駅の再整備に取組まれているが、現在地での建て替えを予定しているとの報道があった。能登原地域の住民は道の駅の再整備の候補地となることを期待していたので残念な思いを持っている。報道によれば現在地での建て替え案を採用した理由は公共施設の近傍にあることとしているが、それはあまり理由にはならないのではないと思う。穿った見方かもしれないが、初めから現在地での建て替えを前提にして、地域住民の意見を聞いたという体裁を整えただけに見える。能登原地域は韮未来トンネルが開通して交通の利便性が向上し、沼隈や尾道への観光ルートの役割を担うことになり、海も観える。都市計画上も白地の地域であり、農業振興地域の規制を解除できれば開発は可能と考えている。何らかの手当をしなれば地域が限界集落となり、陸の孤島になってしまう。道の駅の再整備にあたっては国の手厚い支援があると聞いている。そうした支援策を活用して、能登原を再整備候補地として選定してもらいたいと住民の多くが考えている。住民が知らない間に物事が進んでいるように感じる。どういった状況にあるのか教えてもらいたい。	A1 新聞報道ではそういった記事があったが、まだ確定したものではない。現在地が最適であるのかどうかはまだまだ検討段階であると認識している。福山市内で唯一の道の駅にどれだけの集客力があるのかというのは、立地が大きく影響してくると考えている。現在地は観光ルートにあるとはいえ、通過交通を呼び込める場所とは思えず、もっと韮に近い方が良いのか、それとも松永との道路の結節点が良いのかなど、検討の余地はまだあると考えている。また、現在地は敷地面積の関係で観光バスの駐車可能台数に課題がある。道の駅には多くの台数を収容できる駐車場や防災拠点としての機能も求められるが、現在地は土砂災害警戒区域のイエローゾーンにある。避難所としての機能を求めるなら、災害の危険性が少ない場所が最低限の選定条件と考えている。まだまだ検討段階であると認識しているし、より良いものになるよう議会の側からも様々な視点で議論する必要がある。詳しい状況については農林水産課等の担当部局から説明をするよう促したい。
	Q2 人口減少の中で沼隈地域の歴史や文化が失われていくのではないかと危惧している。地域では保存会を結成してはね踊りを伝統文化として継承してきたが、2年前に保存会も解散してしまった。旧沼隈町時代には伝統文化の保存にも補助があったが、合併後にはそういった支援策がなくなったことが理由で活動の継続が難しくなったと考えられる。沼隈の歴史や文化を継承していくための活動に支援をしてもらえればと思うが、考えをお聞きしたい。	A2 沼隈の方から福山市と合併をしたことで地域活動への財政的な支援がなくなったということをよくお聞きする。沼隈の歴史や文化が失われていくことへの危機感に寄り添って予算をつけることができればよいが、地域の歴史文化の継承は市全体の課題でもあると思う。議会としてしっかりと発言をしていきたい。

議会報告会報告書

	質 問 ・ 意 見 等	答 弁
質疑応答	Q3 以前は材料を支給してもらって地域で行っていたインフラの補修が高齢化によって難しくなってきた。河川の修繕などのインフラの整備について、優先順位はあるのだろうか、公平な基準で判断をしてもらいたい。	A3 他の地域でも同じような課題を抱えている。行政も画一的な対応ではなく、地域の実情に応じた対応をしてくれている。自治会長や土木常設員を通じてよく担当課と相談をしてももらいたい。議会としても、地域の高齢化の実情をふまえて、今後こういった取組ができるのか考えていきたい。
	Q4 地域住民でため池堤防法面や道路の草刈りや清掃をしているが、高齢化によって人数が少なくなり、作業に危険を伴うようになった。通学路でもあるので、年に何回か業者への委託をできないか。	A4 通学路については、2年に1度点検をして、エントリーした先について整備をしている。法面については、芦田川堤防道路などでは、市道から1mの範囲であれば市道整備の対象に含めることが出来るが、法面全体となると難しい。 地域の負担感を軽減していくうえで、どういった対応ができるのか、土木常設員や自治会長を通じてよく相談をしてもらいたい。
	Q5 道の駅について、能登原は海と内海大橋が観える景色の良い場所である。なぜあの場所を道の駅の再整備候補地にしないのか疑問を持っている。行きたくなる道の駅にしてほしいと思っている。	A5 写真映えスポットがあると観光誘客につながる。そういった部分も十分に議会で発言していきたい。
	Q6 旧沼隈町時代から地域住民が力を出し合って工事をして道を造ったりしてきたが、それが段々と縮小してきている。能登原地域の中でも6つの自治会が限られた予算を分け合って地域の保全活動をしている。この予算もいつまであるかわからない中で地域の先行きに不安を感じている。田舎の人間が田畑を耕して土地を守り、道路を直し、近所の人と助け合って行かないといけない。周辺部の地域のこうした実態を中心部の方々は認識していないのではないか、だから予算の配分もされないのではないかと考えてしまう。旧沼隈町時代から続いてきた住民によるまちづくりの歴史をどのように評価されているのかお聞きしたい。	A6 地域に割り当てられた修繕費の額が少なくなると十分な対応ができないという実態もあるが、本当に必要な工事はやっていかないとけないので、自治会長や土木常設員を通じて行政とよく相談をしてもらいたい。まちづくりの補助事業についても今後も継続していけるよう要望を伝えていきたい。

【意見交換】

Bグループ担当：池上 文夫・能宗 正洋・山田 由美

	質 問 ・ 意 見 等	答 弁
質疑応答	Q1 スクールバスについて、現在、沼隈支所前から川沿いを通して想青学園へ向かうルートは、大型車両通行止めになっている。そのため、スクールバスが通れない状況である。警察など関係機関にも相談しているが、まだ結果が出ていないがいつごろ通行可能になるのか？	A1 持ち帰り改めて早急に対応して返答させていただきます。

議会報告会報告書

	質 問 ・ 意 見 等	答 弁
質疑応答	Q2 耕作放棄地について。家の周りの田んぼも高齢化で稲を作らなくなると、どうしても草が生えてくる。牛を飼っている方と契約している方は、定期的に刈ってくださって綺麗になるが、そういう契約をしてない方はどうしても草が生えてしまい、荒れ果ててしまう。うちもすぐ横がもうやめられているので、どうしても草がうちの塀の方に来るので、塀の周りだけは除草剤を撒いている状態。 そういう荒れた土地をどうにかしてほしい。一回やめた田んぼはもう元に戻らないので、そういった荒れた土地をどうしていったらいいのかという悩みと、荒れていると、イノシシとか、そういうものが増えてくる。 田んぼの中に檻を設置してあったが、あまりかからないからということで撤去されていて、だんだんイノシシも増えていくし、そういう枯れた土地で困っているの、何とかしていただきたいと思う。	A2 耕作放棄地等についても問題である。農業の施策が進められている。例えば異業種の企業とのタイアップやマッチングを進めている。新規や若手の方に農業に従事してもらえるように市としても助成金を出している。
	Q3 鞆の浦や阿伏兎に観光客も増えている。文化財の助成など市の助成。少子化で学校がなくなっていく中、地元でもふれあい祭りなどで盛り上げていく。 民族博物館のように、民具農具・イ草を納めている場所があればいいと思う。田尻のように見せられるように保存したい。	A3 地元からも議会からも声を上げていく必要がある。トイレの改修も済んだがまだまだ足りない。色々な施設があるので、それらを活用してインバウンドのコースとなるようにしないといけない。文化財を守っていけるように、皆様の声を出していただければ良いのではないかと考えている。
	Q4 これからの福山市の発展に期待してる。福山の力強さを感じる。枝広市長の太陽熱エネルギーを積極的に取り入れ94%のエネルギーは賄える。エネルギー分野でも石油に頼らない時代が来るといい。	A4
	Q5 少子高齢化で小中一貫校の機運も上がっているが、地元の小中学校の存続が不安である。	A5 学校教育環境検討委員会を立ち上げている。市としても検討の方向性を示していけると思う。
	Q6 便利な場所へ若手が引っ越ししてしまっている。耕作放棄地やイノシシの被害など続いている。全国的な人口減少。市街地へインフラの整備を集約してはという声もあるが10年後～20年後あっちへ行けと言われるのかなと危惧している。	A6 若者の移住を促進したり、危機感を持ちながら福山市としても呼び込みの取り組みをしている。今後も協力し合って進めていく課題である。

議会報告会報告書

	質 問 ・ 意 見 等	答 弁
質疑応答	Q7 内海町の人口が減っている。行き止まりになっていて一周できるような道もない。移住者にも自治会長が回ってきた。回復不可能なのではという危機感がある。うまく回っているところはどのようにしているのかと聞きたいくらい。 自治会活動も高齢の方に負担をかけないよう最低限のものである。	A7 (自治会活動については、高齢者への負担軽減にも配慮しながら)継続して進めていただければと思う。

【意見交換】

Cグループ担当：連石 武則・奥 陽治・大村 展正

	質 問 ・ 意 見 等	答 弁
質疑応答	Q1 福山市立想青学園・常石ともに学園の出入りに、防犯カメラの設置はどうなっているか？7月に不審者が逮捕される。グループホームでの入居者が脱走する。防犯カメラが必要。	A1 教育委員会、まちづくり推進課等に相談はした。基本的に、学校への防犯カメラ・防犯灯の設置を市は進めていない。不審者が居座るとなれば、話は変わってくる。現時点では難しい。設置は可能であるが、自治会で話をして、お願いをする。行政からは無理である。脱走者については、町内の状況を確認し改めて報告する。
	Q2 道の駅アリストぬまくま開発の件で、突然、現在の場所に決定した。地元には話が無かった。商工会や、漁業関係等で話合いがあり、当初は他の場所の検討もあった。なぜ、今の場所か？市議会のかかわりは、どうなっているのか？今後は、地元も含めて話合いをしてほしい。	A2 建替えの場所は、色々噂はでた。条件、面積等を考えると現在の場所が最適との意見が出ている。漁協、観光協会、大学の先生、企業等で9月いっぱい基本構想をたて、成案を作成し、1年半かけて実施計画等をしていく。残り、2年をかけて、建築をしていく。市議会もしっかり発信する。地元を含め話をしていく。
	Q3 空き家対策はどのようになっているのか？古い家はどうしたら？市に相談するが返事がない。通学路近くの空き家は危険である。隣の家は倒壊しそう。獣が住んでいる。	A3 基本的に民間の話合いになる。行政で解体は出来ない。やむをえない場合は解体し費用は100%回収している。現地確認の依頼があれば、建築指導課がお伺いする。持ち主様には、書面や直接の連絡をしている。特定家屋になると、解体費用の一部は補助金が出る。ご相談をいただきたい。

【意見交換】

Dグループ担当：早川 佳行・岡崎 正淳・田口 裕司

	質 問 ・ 意 見 等	答 弁
質疑応答	Q1 県道72号線の道幅が狭い、なんとかならないか。	A1 県の道路整備計画に基づき整備されている。来年度からの計画を立てている。未来トンネルも出来て交通量が増えているので、重要性が高まっている、引き続き県に要望をあげていく。
	Q2 自治会加入率の低下について、自治会連合会から市の方へ具体的な支援をしてもらうよう、仮称であるが自治会町内会を応援する条例を提案している。バックアップを考えてほしい。	A2 自治会の加入率低下に関しては全市的な課題であり、要望を重く受け止めている。議会でもしっかりとフォローをしていく。

議会報告会報告書

	質 問 ・ 意 見 等	答 弁
質疑応答	Q3 町内の活動を行える人が少なくなってきた。決まった人が固定化してきている。特に草刈りの負担が多く1年中町内の草刈りを行っている。	A3 自治会の今後の在り方として福山市では今は事例がないが、区域の統合も今後の議論の中で出てくる可能性はある。
	Q4 安全対策の白線が薄くなっているが、警察に要望すると内海は学校がないので通学路の安全対策は出来ないと言われた。	A4 通学路の安全対策は学校単位で2年に一度安全点検をしている。住民としてどこに問い合わせをすればいいか分かりにくい。支所の建設産業課が窓口となってワンストップ対応をする必要がある。
	Q5 能登原の学校再編での跡地利用でこども園ができた。こどもの数は少なくなっているがほかの地域からこどもたちが集まってきた。	A5 学校再編の跡地利用でほかの地域でも課題になっている中で、地域の方々が連携してこども園をつくったことはとても素晴らしい取組だった。
	Q6 内海町は学校がなくなっただけでなく、公共交通が少ない(バスの本数も少なくバス代も高い)ため高校生の通学に公共交通を使うことは難しく費用がかかる。ほとんどの保護者が送り迎えを行っており負担が大きい。	A6 島に住まわれている世帯で高校生の通学には課題があるので議会でも提案をしていく。

議会報告会報告書

開催日時	2025年(令和7年)8月20日(水) 18:30～20:00					
開催場所	東部市民センター ホール					
担 当 班 及 び 名 簿	東 部 班	清水 寛敏	阿部 直文	三好 剛史	浜本 将矢	皿谷 久美子
		小林 聡勇	八杉 光乗	能宗 正洋	石岡 久彌	稲葉 誠一郎
		早川 佳行				
役 割 分 担	班 長	八杉 光乗		副 班 長	小林 聡勇	
	司会進行	阿部 直文		資料説明者	清水 寛敏	浜本 将矢
					小林 聡勇	
	答 弁 者	全 員		記 録 者	三好 剛史	
欠 席 者	なし					
参 加 者 数	157人(内、オンライン視聴15人)					
報 告 内 容 等	・ふくやま市議会だより ・東部地域の現状と課題 ・空き家対策 ・人口減少対策と子育て支援 ・高齢者支援					

【意見交換】

	質 問 ・ 意 見 等	答 弁
質疑応答	Q1 ①幕山台7・8丁目は幕山小学校の通学地域であるが、中学校は東朋中学校区となっている。幕山小学校の小中一貫教育の連携校は鳳中学校となっており、整合性がないのではないかと。 ②休園中の幕山幼稚園は少子化対策に資するよう、公立の就学前教育・保育施設として活用すべきではないかと。	A1 ①小中一貫校における連携校と小中学校の通学区域との整合性については課題の提起として教育委員会に伝える。 現在市教委は学校教育環境検討委員会を立ち上げ、望ましい学校教育環境の在り方について検討しているところであり、ご意見は伝えていく。 ②少子化の進行と幼稚園等の老朽化により、保育施設等の再編を検討せざるをえない状況となっている。一概に休廃止ありきではなく、保護者の思いや意見も聞きながら、こどもたちにとってより良い環境となるよう、行政と話をしていきたい。
	Q2 春日池公園の利用者から、公園内の橋の色が劣化して景観が悪くなっていると聞いている。色を塗り直してほしい。	A2 春日池公園の浦島橋の色塗装については、意見を頂戴しているところであり、橋の設置以来更新されていない状況(2015年(平成27年))に部分的な改修が行われているが、全体的に劣化が進んでいる状況)。所管の公園緑地課では、現在公園遊具の更新事業に取り組んでいるため、財政的な制約があることも承知しているが、景観上の懸念の声を所管課に伝え、更新を要望していきたい。
	Q3 降下煤塵(ばいじん)について、市に問い合わせたところ、降下煤塵には、工場や自動車等、様々な要因があるが、法律による規制値が定められていないという答えだった。環境白書では、大津野学区での降下煤塵の測定値において、鉄を含む数値が高くなっている。排出元の事業者への指導を強めてもらいたい。	A3 降下煤塵(ばいじん)の影響が大きい事は東部地域特有の課題であり、事業者も予算を投じて対策に取り組んでいるところであるが、市民にはあまり知られていない。住民が市に問い合わせても納得できる答えが返ってこないことが多い。行政は市民の声を事業者に伝え、事業者の排出抑制の取り組みを市民に周知する環境コミュニケーションの強化を求めているところ。今後の進捗など、議会での議論も注視していただきたい。

議会報告会報告書

	質 問 ・ 意 見 等	答 弁
質疑応答	Q4 福山市は2018年豪雨以降、浸水対策に取り組んでいるところであり、千田町でも新しい排水ポンプが今後整備される。しかし、町内の特定の地区では度々冠水し、この8年間で5回浸水が発生している家屋もある。 ①新たな排水ポンプ場の整備に係る住民説明会を開催してほしい。 ②福山市の風水害等に係る災害弔慰金・見舞金制度の金額を拡充してもらいたい。特に床下浸水については土砂流入が要件となっているため、水が流入しただけでは対象とならない。すべての浸水被害が対象となるよう要件を見直してもらいたい。	A4 千田町における冠水・浸水の発生状況は承知をしているところであり、排水ポンプ場の整備については早期の整備が求められている。一方ポンプが整備されるまでの間に浸水が発生している現状と被害世帯住民の心情を鑑み、浸水に係る災害見舞金の制度における運用については、見舞金としての役割が果たされるよう、幅広い認定をあらためて求めたい。
	Q5 平和行政について、日本は国是として非核三原則が制定され、福山市は昭和59年に平和非核都市福山宣言を行っている。先日の参院選では核を持つことが安上がりであるというような論調や、教育勅語や大東亜戦争など戦前の認識を持ち出すことも見受けられた。福山市・福山市議会として、平和非核都市としての意見を国政にも表明する時ではないか。	A5 戦争は絶対にあってはならないし、核兵器の使用、保有もあってはならないということは議会の共通認識であるが、防衛・外交上の問題は、国が積極的に取り組むことである。市議会としては過去の臨界前核実験に対して抗議をしてきた経過がある。今後も同様の事態があれば、議会として意思を表明していく。
	Q6 子育て支援について、未就学児のこどもを育てているが、酷暑で外遊びができず、遊び場がないので困っている。 ①岡山市には児童館があり、浅口市では体育館が解放されている。市内には室内で遊ぶ場所が無いのでぜひ作ってもらいたい。 ②交流館のキッズスペースには赤ちゃんのおもちゃがあるだけで、こどもを連れていくには不十分。利用者の実情に即した改善をスピード感を持って行ってもらいたい。	A6 様々な方から同様の意見をいただいているところ。議会でもスピード感を持って対応するよう求める中で、市はネウボラセンターを9月に開設し、市内6カ所の交流館にキッズスペースを整備した。試行的運用をしながら、各地域の実情や利用実態の把握を行い、保護者が何を求めているのか見極め、次につなげていく取り組みにしようとしているところである。議会として実情に鑑み、迅速な対応を引き続き要望し、何ができるのかを関係部署と話をしていきたい。

議会報告会報告書

開催日時	2025年(令和7年)8月21日(木) 18:30～20:00					
開催場所	西部市民センター 多目的室					
担当班 及び名簿	西部・西南 ・南部班	橘高 行格	山田 由美	大村 展正	田口 裕司	小畠 崇弘
		宮地 毅	奥 陽治	能宗 正洋	連石 武則	岡崎 正淳
		池上 文夫	早川 佳行			
役割分担	班 長	田口 裕司		副 班 長	小畠 崇弘	
	司会進行	山田 由美		資料説明者	大村 展正	
	答弁者	全員		記録者	橘高 行格	山田 由美
					大村 展正	田口 裕司
欠 席 者	なし					
参加者数	86人(内、オンライン視聴9人)					
報告内容等	・(報告)ふくやま市議会だより ・グループディスカッション					

【意見交換】

Aグループ担当：宮地 毅・小畠 崇弘・橘高 行格

質疑応答	質 問 ・ 意 見 等	答 弁
	Q1 学校教育環境検討委員会で学校再編の検討が行われていると聞いている。熊野小学校が再編対象になるのではないかと思います、住民で署名活動を行い、1,600筆強の署名が集まり、教育委員会と議会にそれぞれ提出をさせてもらった。現在69名の児童数であるが、不登校児童もおらず、小規模ではあるがこどもが育つ環境としては適正規模であると考えている。児童数だけで判断するのではなく、地域の実情等も踏まえて判断してもらいたい。	A1 第1段階の学校の再編が終わり、現在今後の再編の在り方について検討がされている状況である。市内には在校児童数の減少が進んでいる学校があり、そういったところは再編の検討の対象にはなってくるが、地域特性もある。こどもたちに郷土愛を育む取組も大切である。地域の思いをふまえて議会としても議論をしていきたい。
	Q2 松永ヤンキースという中学生を対象にした硬式野球クラブチームを運営しているが、練習場として使用させてもらっている西部多目的広場に備品倉庫を置かせてもらいたいと要望しているが、受け入れてもらえない。こどもたちの教育に貢献していることを踏まえて何とかしてもらいたい。	A2 要望として受け止めさせていただく。
	Q3 自治会連合会の運営費補助が据え置きとなっているので、物価上昇を反映した金額に見直しをしてもらいたいという要望を市に提出している。また、自治会の加入率が低下しているので、自治会を支援する条例の制定に向けて検討してもらいたい。条例を制定したからといって加入率が上向くわけではないが、機運の醸成にはつながると考えており、これも要望している。議会としても後押しをしてもらいたい。	A3 補助額が800万円程度であり、活動に必要な金額としては不足していると認識しているので引き続き、しっかりとした予算措置が図られるように要望を伝えていきたい。加入率の問題について、自治会の必要性和メリットを理解してもらえるように取り組んでおられることを後押しできるようにしていきたい。
	Q4 ハウスメーカーが自治会に加入しなくてもよいと住宅購入者に伝えていたと耳にした。行政の方からハウスメーカーなどに入居者に対して自治会加入を促すよう協力を呼びかけてもらいたい。	A4 自治会に加入した方がよいと思ってもらえる取組がまず大切である。福山市では宅建協会との間で転居者に対して自治会加入を促す取組を協力して行うという協定を締結している。今後も会員の事業者にと取組を強化してもらえるように議会としても促していきたい。

議会報告会報告書

	質 問 ・ 意 見 等	答 弁
質疑応答	Q5 ごみ捨てや排水の問題があるので、自治会として不動産業者との連携を欠かさずにやっている。それでも加入しない方がいる。理由は役員をやりたくないからということである。高齢であることを理由に役員ができないからと自治会の退会を申し出る方もいる。そういった負担に感じる部分を解消していかないといけないのではないか。	A5 自治会の加入率低下には役員をすることの負担感という要素もあると思う。この負担感を解消していかないと加入率の問題は解決していかない。条例によって加入促進をするという考え方もあるが、福山においては負担感や不公平感を取り除いていくための取組をしていかないといけない。
	Q6 外国人の土地購入問題や尖閣諸島、竹島が外国に占有されている状況について、市議会として議論の対象とならないのか。	A6 安全保障は一義的には国において議論されるものであるが、市民の生命と安全に関わる問題でもあるので、自らの主張を述べることはできると思う。議員の中には様々な主義と立場があり、市議会での議論の対象にすることは難しいと考える。外国人の土地購入の問題は、地域の問題でもあるので、議論の対象にはなってくる。また、平和行政という観点から意見書として議会の意思を示した前例もあり、その時その時の国際情勢に応じて、議会として必要があれば対応していくこともあると考える。
	Q7 学校施設の屋上などへ太陽光パネルを設置してはどうか。	A7 以前、福山未来エナジー株式会社から公共施設に太陽光パネルを設置させてもらいたいという提案があり、施設の構造に問題がなければ設置して公共施設の電力として活用している。ご意見として受け止めさせていただく。
	Q8 松永駅の北側がシャッター街になっている。松永支所が作った今後の松永駅周辺のイメージ図を見たが、全くの空想と受け止めた。10年後や20年後を見据えて住みよい街になるように考えていただきたい。	A8 松永駅周辺活性化協議会や松永未来会議での議論をふまえて作成したビジョンのことを言われていると思う。あのイメージ図は駅周辺に求められる機能を絵にしたもので、ビジョンに基づいたまちづくりを地域が一体となって進めていくことで松永駅周辺の活性化を促して、松永地域全体の活力あるまちづくりにつなげるものである。未来を見据えて、少しずつではあるが途切らせることなく取組を進めて行くことが大切である。活性化の取組も始まったばかりである。今後の展開を見守っていただき、また、参加していただく中で一緒になって住みよい地域として未来につなげていければと思うので、ご協力をお願いする。
	Q9 空き家問題で持ち主に連絡が取れなかったり、調整区域の休耕地も売却ができず、放置された結果荒れて猪の住処になったりしている。何か良い対策ができないか。	A9 要望として担当課に伝えさせていただく。

議会報告会報告書

【意見交換】

Bグループ担当：池上 文夫・能宗 正洋・山田 由美

	質 問 ・ 意 見 等	答 弁
質疑応答	Q1 2022年から消防器具庫建設に市の助成金を受けている。尾道市では行政が全額補償しているが、福山市では地元負担が大きい。消防団員が減少する中でも、災害時には地元の消防団が要となるため重要である。 資材高騰により地元負担が増加しているため、助成金や補償金の見直しを都度行い、地元負担を少なくする対策をしてほしい。	A1 消防団員が減少する中でも、災害時には地元の消防団が要となるため重要である。東村に限らず、課題があると思っているため、できるだけ安心安全な基本的な施設だという視点で取り組む必要があると思うので、議会としてもそういう声をあげたい。
	Q2 松永の未来会議には多様な人が参加しているが、市議員は参加していない。松永の将来を考える未来会議に市議員が参加していないのは疑問であり、市議員に関わるべきではないか。	A2 議会としても関心を持っており、そういう取り組みに対して、できるだけ支援策というものを講じるよう議論する。
	Q3 不登校児が増えている。「かがやき」が3か所あるが、中学校区に1校ぐらいずつ、そういうフリースクールを作ってほしい。こどもの孤立を防ぎ、つながりを持てる場やワークショップの拡充に努めてほしい。	A3 今あるフリースクールの活用をしながら、どう方法が一番いいかというのは、教育委員会とも十分協議をしながら、必要な対応をとる必要がある。 現在、学校教育環境検討委員会での協議が始まっているので、教育環境の条件整備というものに結びつけていきたい。
	Q4 3月6日の福山市議会本会議で女性議員がこどもの居場所に関して質疑中に「こどもを放っておいても育つ、居場所はいっぱいある」という不規則発言、野次があった。	A4 現在、ハラスメント指針を取りまとめ中である。パワハラ、セクハラ、ジェンダー、モラルハラスメント、妊娠・出産・育児・介護に関するハラスメント、その他ハラスメントの概念に入るもの全てを網羅する内容になる予定である(→9月2日付けで施行)。
	Q5 自治会加入率が年々1%ずつ低下しており、災害対応や地域コミュニティの維持に危機感がある。 南海トラフ地震が30年以内に80%くらいの確率で発生すると言われている。	A5 自助・共助・公助が地域生活の基本であり、行政施策と結びつけていくことが課題である。また、自治会未加入者へ行政サービスの情報が届くよう、スマホやSNS等も活用し情報発信方法を工夫する必要がある。
	Q6 人と人との繋がりが希薄になりすぎている。町内会加入率も含め、若い人に聞いても子ども会やPTAに入ってもメリットがないという声が出ている。これらは全て町内会・自治会へ繋がる元となる。福山市としてその辺の意識づけ・現状の姿勢というものを知りたい。	A6 人口減少・高齢化・少子化の中で地域コミュニティの維持は支え合っていくものも必要である。例えばお祭りの担ぎ手を車移動にしたり、しめ縄をインターネットで購入したり、工夫しながら持続可能な継続を目指し小さな改善を重ねている。行政としても、地域の努力と結びつけながら、住民同士のつながりを保つための支援策を進めていくことが重要であり、課題である。

議会報告会報告書

	質 問 ・ 意 見 等	答 弁
質疑応答	Q7 行事が簡素化されるのは避けられない。行政サービスの情報を平等に受けられるようにしてほしい。	A7 議会だよりの郵送や、自治会未加入者へ行政サービスの情報が届くよう、スマホやSNS等も活用し情報発信方法を工夫する必要がある。
	Q8 街路樹や道路整備など、必要性の低い事業に予算が使われているのではないか。バイパス沿道の街路樹が通行の邪魔になっており、側道の楠木を全部切ってほしいという要望があるが年間2～3本程度しか伐採されていない。また、住民要望やクレームをどこに伝えればよいか分からない。	A8 公共事業の優先順位や住民要望の反映について、行政は住民の声を受け止め、必要な課題として対応していく必要がある。

【意見交換】

Cグループ担当：連石 武則・奥 陽治・大村 展正

	質 問 ・ 意 見 等	答 弁
質疑応答	Q1 山手地区は芦田川より低い。平成30年浸水被害。当時は川の中の土砂、木の伐採をした。今後の土砂や木の取り除く作業計画は？（芦田川・瀬戸川・小田川）	A1 一級河川であり、入江から草戸大橋の土砂を取っている。今後も取り除く事を計画的に進める。改めて報告する。
	Q2 熊野保育所は、定員10名をきる。瀬戸の分園化の話。熊野小学校・至誠中学校について新聞等で廃校・統合の話があり危惧している。福山市議会議長と教育委員会宛てに1,600人の署名を提出した。今後は、どのような方向性で進んでいくのか？	A2 学校教育環境検討委員会（会議）が行われている。現在の計画を確認し距離感を含めて話し合い、報告する。
	Q3 自治会の加入率について、市で条例が出来ないか？松永北口のキャッチフレーズが見えない。空き地を交渉し箱物を建てては？松永湾を埋めたらどうか？	A3 自治会の加入については、本人の考えであり、条例は出来ないが、今後も議論は続けていく。松永北口は本市の土地は無い。現在、北口の活性化の議論はしている。松永湾の埋め立ての予定は、現在無い。
	Q4 市議会だよりは、全世帯に配らないのか？どのように作られているのか？	A4 新聞等の折り込み等で、配布をしている。予算の問題もある。交流館には置いている。配達・郵送の希望の方は、議会事務所に問合せいただきたい。委員会の構成で作っている。2年の交代制で作っている。
	Q5 3月議会のやじをしっかりと議会で止めていただきたい。	A5 議会として、しっかりとしていく。
	Q6 藤江・金江小学校の統合の話は、出てきているか？出来るだけ早めに計画が分かれば教えていただきたい。一緒に考えていきたい。	A6 地元の方々には、教育委員会から、最初に話が行くと思う。

議会報告会報告書

	質 問 ・ 意 見 等	答 弁
質疑応答	Q7 コミュニティスクールでこどもたちを育てるメンバーに入っているが、統合したらどうなるのか？一緒に育てることが出来るのか？	A7 東村、今津小学校は再編したが、交流館は各地域に残り、まちづくりは継続している。色々な統合等の話が出れば、早めにご相談する。
	Q8 (夏休みの)平和教育はどのようにになっているのか？登校日がないため、どのように教育をしていくのか？	A8 しっかりと伝える。
	Q9 今回の議会報告会のグループ分けの話合いはとても良い。今後も継続していけるのか？グループ分けはどのようにされたのか？	A9 松永地区では、初めてである。皆さんの意見も取り入れどのような話合いが良いか意見もほしい。良ければ続けていく。受付にて、ランダムでチーム分けをした。

【意見交換】

Dグループ担当：早川 佳行・岡崎 正淳・田口 裕司

	質 問 ・ 意 見 等	答 弁
質疑応答	Q1 体育館の空調整備に関して、整備されていない体育館の今後の予定はどうなっているのか。選挙の投票立会人をしているが、過酷な環境であった。	A1 体育館の空調整備は基幹緊急避難場所となっている体育館を優先的に整備を行っている。今後の予定に関しては議会でも課題であると認識しており、議論している。選挙の立会人に関しては全国的にも投票所の数は多いが負担に対しての謝礼については今後の課題である。
	Q2 地域のデジタル化に関して岡山市ではサーバーを市の方で持っていて地域が自由に使うことが出来る。それを活用してHPなどの作成を行っている。福山市ではそのようなサポートはないのか	A2 福山市では行政のデジタル化と地域のデジタル化を行っている。地域のデジタル化では費用負担のないLINEのオープンチャットを活用したやり方と公式LINEを使ったやり方を行っている。地域振興課やICT推進課が支援を行っている。明王台学区が進んだ取組をしている。やりながら慣れているのがよいと思う。
	Q3 市街化調整区域で家が建てられないので地域の人口が減っている。	A3 市街化調整区域に関しては条件が合えば工場などの立地に活用できる地域未来投資促進法なども出てきている。現状にあった地域の在り方を今後も議論していく必要がある。大変大きな問題であることは認識している。

議会報告会報告書

開催日時	2025年(令和7年)8月22日(金) 18:30～20:00					
開催場所	神辺文化会館 小ホール					
担当班 及び名簿	北部・ 神辺班	千葉 真一	加藤 陽一郎	平川 富章	塩沢 光江	宮本 宏樹
		石口 智志	能宗 正洋	生田 政代	早川 佳行	小川 眞和
役割分担	班 長	生田 政代		副 班 長	石口 智志	
	司会進行	宮本 宏樹		資料説明者	加藤 陽一郎	塩沢 光江
	答 弁 者	全員		記 録 者	塩沢 光江	
欠 席 者	小川 眞和					
参加者数	72人(内、オンライン視聴4人)					
報告内容等	・ふくやま市議会だより ・北部かわまち広場 ・駅家公園リニューアル ・神辺町まちづくり					

【意見交換】

	質 問 ・ 意 見 等	答 弁
質疑応答	Q1 学校統廃合について。第2要件で13校が対象になっているが、今いるこどもの人数を維持し、増やしていく方策を地域と行政で考えてほしい。もし統廃合する場合は、地域の理解・了承は不可欠。	A1 学校教育環境検討委員会を19名の委員で取り組んでいる。学校規模をどうするか。地域に学校を残してほしいという願いは当然だ。地域の住民の方の合意がなければ統廃合はできない。学校に通うこどもたちの願いの把握も必要。説明会を行う場合は、住民の方が納得いくまで丁寧に説明会を行うことも聞いている。皆さんの意見、願いを上げてほしい。
	Q2 箱田川について、川の両側から樹木が茂りくっついて、雨水が流れない状態。中条小の前には残土がある。市にお願いしてもそれでも処理してくれない。見たらわかると思うが、どう考えているか。一度見に来ていただきたい。県に言ったら、一部だけ取り除いて終わりにした。3年前にもう要望を上げている。大雨が降ったら確実にあふれて大変なことになる。市から県に要望を上げていただきたい。	A2 大型河川は県の管理である。地域で「要望を上げてください」としか言えないが今は順番を待っている状況である。駅家の方は、服部川は整備されたが吉野川はまだである。県の方へ訴え、確実に皆さんの要望が叶うようにバックアップする。
	Q3 資料P11「抜本的な浸水対策：河川の河道掘削」について、沼川の河川掘削420㎡には少々疑問がある。神辺建設産業課にも要望を上げている。低水域のたい積物を高水域の場所に上げている状態で、河川の堆積土をすべて掘削する等そこまでやってほしい。後は自分で動く。	A3 議会は地域の声を行政に届けるのが仕事と思っている。

議会報告会報告書

	質 問 ・ 意 見 等	答 弁
質疑応答	Q4 この暑さで近所の人々が亡くなった。エアコン代もお米や食べ物も高く、国民健康保険税や介護保険料も高い。暮らしていくのが本当に大変な状況。庶民が苦労している時はぜひ対策を考えてほしい。神辺の4割は高齢者。その辺の話が出てこないの、ぜひよろしくお願いしたい。	A4 国民健康保険税を上げないでほしいと署名を行い提出したが、7千円近くの値上がりになってしまった。住民の暮らしは本当に大変で、このしんどさを市政に伝えていくのが市議の仕事だと思っている。少し前にエアコンの購入への補助があったが、すべての人へ購入や電気代の補助はできないけれど、地域ごとに一人暮らしの方が集える場として、交流館や図書館など、お茶を飲んで帰れるという地域もあるようだ。お出かけ支援などやれることをやる。この暑さで亡くなる人がいる。市として何ができるか考えていく。
	Q5 国保税が上がることに賛成した議員さんの意見を聞きたい。	A5 賛成した者の一人として。国保の負担は厳しい状態である。福山市は国保の運営において基金を活用し、県が示す金額よりは低い税額で運営している。低所得者世帯への減額措置もあるが、これ以上は市長、議会を通して国の方へ国保制度の抜本的な改革を求めている。国保の健全な運営のために賛成した。国保が上がらない方がいいと思っているのは事実だが、今の時代に即したシステムを考えている。絶対反対してそれが通る時代ではなくなったのも事実。反対しただけでは制度として成立しない。
	Q6 水害対策でポンプを作ったのは知っている。避難場所について、神辺支所は周りが水に浸かって避難できなかった、道上小は断層の上にあるので避難場所になっていない。高台に逃げるにも裏山の土砂が来そうで怖い。災害の種類によって避難場所を変えるなどの必要性があるのではないかな。国にも問うこともできるのでは。	A6 災害の種類によって避難場所は指定されているが、統廃合されているため、地元にたくさん施設はない。市としては、体育館においてはエアコンを設置する等、避難しやすい体制づくりを進める。公共施設に加えて、個人宅なども避難場所になっている。施設もある。避難場所となる体育館にはエアコンの設置が早くできるよう働きかけていく。また自主防と一緒にやって後押ししていきたい。行政の施設だけではなくすべての人が利用できないため、民間の施設も利用してほしい。
	Q7 隣保館は今後どうなるのか。河川氾濫時には神辺支所に避難すると思っていたが、更地になるのを聞いて良い方向に活用してもらえればと思う。	A7 隣保館は更地にして売却する予定と聞いている。ご要望としてしっかりと受け止めさせていただく。

議会報告会報告書

開催日時	2025年(令和7年)8月23日(土) 13:30 ～15:00					
開催場所	福山市役所本庁舎 3階 大会議室					
担当班 及び名簿	中央西・ 中央東班	貝原 大和 喜田 紘平	佐久間 裕徳 能宗 正洋	木村 素子 大田 祐介	野村 志津江 早川 佳行	小山 友康 小林 茂裕
役割分担	班 長	野村 志津江		副 班 長	貝原 大和	
	司会進行	貝原 大和		資料説明者	貝原 大和	
	答弁者	全員		記録者	野村 志津江 貝原 大和	佐久間 裕徳 木村 素子
欠 席 者	小林 茂裕					
参加者数	53人(内、オンライン視聴7人)					
報告内容等	・(報告)ふくやま市議会だより ・グループディスカッション					

【意見交換】

Aグループ担当：能宗 正洋・佐久間 裕徳

質疑応答	質 問 ・ 意 見 等	答 弁
	Q1 かわまち広場の管理について。 芝生などが剥げてきており、どこにお願いしたらいいのか。	A1 スポーツ協会が窓口になっている。
	Q2 こども達への補助について 通学費なども補助はないのか、兄弟が多ければ負担が多い。	A2 基本的には通学費の補助は行っていない。
	Q3 こども達への補助について 他市と比べて給食費や医療費の補助が少ないのでは。	A3 国に対して要望をしている。物価高騰対策としては、本市でも補助金を充てて対応はしている。引き続き国に要望していく。
	Q4 町内会が機能していない。役員不足などにもなって。災害時は特に不安。	A4 加入率も含めて問題は認識をしている。組織の見直しを含め、今後議論していきたい。
	Q5 町内会の活動支援や加入促進の条例は作れないのか。お金は出せなくても旗を振ってほしい。	A5 不動産関係団体など、加入の案内はしていた。今の段階では、条例までは考えていない。引き続きの課題としたい。
	Q6 小学1年の壁について。朝8時半から18時では、仕事に支障が出るので、学校をもう少し早く開けてほしい。	A6 全国的にも小1の壁は問題になっており、議会でも議論は出ている。職員の人材不足なども併せて問題となっており、引き続き議論していきたい。
	Q7 国民健康保険税が毎年値上げされているが、何とかしてほしい。	A7 県内統一にむけて進んでいる。引き続き議論は深めていきたい。

議会報告会報告書

	質 問 ・ 意 見 等	答 弁
質疑応答	Q8 自転車の法改正に伴う、安全対策について。 併せて、歩道の草や木など茂っていて通れないところがある。	A8 自転車に乗っているかたも、車の方も安全に走行出来るよう、考えていきたい。 バ撮ローズ(道路の不具合を見つけた場合に、スマートフォンを利用して市へ通報できるアプリ)なども活用してほしい。
	Q9 横尾の交通渋滞を改善してほしい。(313号線)	A9 横尾の踏切周辺は現在渋滞緩和に向けて工事中。他にもバイパス工事を行っている。
	Q10 学校のグラウンドに芝生をひいては。体感温度が下がるため、良いのでは。	A10 今のところは検討はしていないが、今後そういったことも踏まえて、温暖化対策は考えていきたい。
	Q11 災害時のキッチンカーなど、本市はないのか。	A11 今のところはない。キッチンカー、トイレカーなども考えていきたい。

【意見交換】

Bグループ担当：大田 祐介・貝原 大和

	質 問 ・ 意 見 等	答 弁
質疑応答	Q1 「広報ふくやま」と比べると「議会だより」の情報量や存在感が薄い。もっと市民に届く工夫をすべきでは？	A1 議会だよりは市民に議会活動を届ける大切な媒体であるが、広報ふくやまと比べて十分に魅力的に見えていない現状がある。今後は、紙面の内容や編集体制の見直し、またSNSやデジタル媒体との併用も含めて改善の可能性を検討していく。
	Q2 駅前広場の使い方や地下駐車場の在り方、バス停の配置、福塩線のICカード対応など、利便性の改善が必要では？	A2 駅前福山の顔であり、にぎわいと利便性の両立が欠かせない。地下駐車場や史跡の活用、広場化のあり方、北口バス停留所の再配置についても引き続き課題を整理し、行政に改善を求めていく。また、福塩線のICカード・QR決済の利便性向上についても、利用者目線で延長・拡充を検討していくよう働きかける。
	Q3 学童と教育委員会の縦割りで不便がある。公園や運動スペースが少ないし、教育現場の不祥事対策も必要では？	A3 学童や保育と学校現場との連携不足は確かに課題であり、空き教室の活用や制度間の調整について改善を要望していく。教職員の不祥事防止に向けた環境整備、防犯カメラの設置の可能性も含め、現場の声を踏まえて検討する。加えて、こどもの体力向上や健全育成のため、公園やスポーツ環境の充実にも引き続き取り組んでいく。

議会報告会報告書

	質 問 ・ 意 見 等	答 弁
質疑応答	Q4 災害時に乳児や妊産婦をどう守るのか、周産期医療や手続きの簡素化は十分か？福山市民病院で出生手続きができるとうりがある。	A4 大変重要な視点である。災害時に妊産婦や赤ちゃんをどう守るかは、防災計画の中でも欠かせない課題である。助産師や公衆衛生士と連携した体制づくりを行政に求めていく。また、市民病院での周産期医療への移行に伴い、出生届など手続きがワンストップで行える仕組みについても改善を提案していく。

【意見交換】

Cグループ担当：喜田 紘平・木村 素子

	質 問 ・ 意 見 等	答 弁
質疑応答	Q1 新型コロナワクチン健康被害への訴えがあるにもかかわらず、行政や議員の対応が不十分。	A1 御意見を承った。
	Q2 予防接種健康被害救済制度の存在が市民に知られておらず、市の広報などを通じた継続的な周知徹底が必要なのでは。	A2 御意見を承った。
	Q3 市役所窓口の亚克力板はもう撤去してほしい。あると非常に不便。	A3 窓口によって必要性がある場合も考えられるため、ご意見を各部署にお伝えし、対応を考えていただく。
	Q4 農業支援と食糧自給率の向上を本市でもすべきではないか。また、物価高対策をすべきではないか。	A4 農業支援は重要と議会も考えている。
	Q5 交流館はサークル活動や高齢者の憩いの場として重要。公民館から交流館への建て替えがなされているが、遅々として進まない。スピードアップを。	A5 工期については様々な理由から、かつてのようなスピードではないが、善処してくれているかと思う。ご意見は担当部署にお伝えする。
	Q6 松永駅北口について、活気を取り戻してほしい。学生の力など借りてできないか。	A6 今現在、地域拠点として官民連携でどのようにすればよいかワークショップを開くなどしている。そうした場に多くの市民が関わることが大切。
	Q7 福山駅前広場について、かつては駅前に広場を作ることに反対をしていたのに、今回は広場を作ることを前提で話が進んでいるのはなぜか。また、具体的な予算など示されずにいたり、協議会の運営が随意契約で進められていることに懸念がある。	A7 前回と今回の意見が違うのはなぜかという問いに対しては我々(2期・3期の議員)ではお答えできないが、現在の福山駅周辺開発についてはこれまで市民の意見を聞き入れつつ、基本方針ができたとして理解している。予算については具体的な計画が立てられていないのでまだ試算をしていないとの回答を市から受けている。随意契約についても一定のルールに沿って行っているもので問題がないとのことだった。

議会報告会報告書

	質 問 ・ 意 見 等	答 弁
質疑応答	Q8 議会だよりについて、審議結果の内容が会派ごとなのはなぜか。自分たちは選挙で個人を選んでおり、会派に投票したのではない。議員一人一人の賛否を公表されたい。	A8 評決については会派で意見を取りまとめたうえで行うのが基本であるため、現行の状況である。ご意見は議会内で共有する。
	Q9 市民が気軽に意見を投函できる「議会の目安箱」を市役所や公民館などに設置し、郵便でも送れる仕組みを設けてはどうか。	A9 皆様のご意見に関しては、各議員がそれぞれの活動の中で行っているのが現状だが、議員と接点がない場合はたしかにそうしたものがあるのも一計。議会内で共有する。
	Q10 駅前開発のような大規模事業よりも高齢者の移動手段確保や水道インフラの計画的な整備といった、市民生活に直結する課題に予算を優先的に使うべきではないか。	A10 駅前開発以外にももちろん重要案件ということで議会も承知しており、議論を進めているところである。引き続き取り組んでいく。

【意見交換】

Dグループ担当：小山 友康・野村 志津江

	質 問 ・ 意 見 等	答 弁
質疑応答	Q1 城北中学校通学路に、30年間凸凹になっている箇所がある。その土地の持ち主に改修を依頼してもとりあってくれないので、市や学校に言ったが何もかわらない。何とかならないか。	A1 関係課に改めて対応をお願いしていく。
	Q2 手城小学校、一ツ橋中学校通学路にある用水路は深く危険なので蓋をしてほしいと以前から要望している。ポールを立ててもらったが、安全の為に蓋をして道を広げてほしい。	A2 水利組合とも関係があると思う。場所によっては蓋をすることは出来ないところもある。関係課に改めて要望を伝える。
	Q3 PTAや子ども会が衰退している現状の中で、市は、PTAや町内会の力をかりてまちづくりをしようとしている気がする。子ども会が盛り上がるように、市の職員が町内に入って後押ししてもらえないか。	A3 保護者同士のつながりを強くするには、SNSだけで用を済ませず、会うことが大切。月に1回でも2回でも集まって話しが出来る機会を増やしてはどうか。 ※参加者から、PTAが見守りボランティアとして(時間や場所を指定せず)子ども達の安全の為にみんなでやっとうと、保護者に呼びかけたところ、多くの人が賛同して活動してもらえるようになったとの報告あり。
	Q4 バスの便が少ない。小さいところをクルクル回る路線を沢山作り、ハブを作って、そこで乗り換えると駅まで行けるような形の路線を作ったらどうか。	A4 現在バス共創プラットフォームで今後のバス路線の在り方も協議されている。市民ニーズも反映された協議を進めている。
	Q5 こどもを連れて議会傍聴に行ったが、こどもは声が出てしまうので、短時間で帰った。傍聴席の中に、こども連れでも気軽にいけるようチャイルドルームを作ってほしい。	A5 議会でも課題としている。必要性を感じている。今後考えていく。